



# フロンティアクラブ会長 春原正三郎

## これからも会員増にご協力を



神奈川大学  
フロンティアクラブ会報

第 42号

発行日 2024年12月26日  
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ  
組織・広報専門委員会  
事務局 神奈川大学 総務部校友課内  
〒221-8686  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL.045-481-5661(代)  
FAX.045-481-2741

この夏は過去にない猛暑が続き、会員の皆さまにおかれましては暮らし難い日々だったのではないのでしょうか。ようやく師走らしい季節になってまいりました。平素は当クラブにご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、令和4年2月の定時総会で会長就任以来、たびたび当クラブの活発化のため「会員増強を!」「当面200名!」とお願いしてきました

が、おかげさまでこの度201名となりました(11月末現在)。2000年発行の「会報4号」には270名と記されてますが、その後リーマンショック時に100名を割り、クラブの存続危機もありました。長年かけ、ようやく皆さまのご紹介やご協力により目標に到達することができました。しかし、これがゴールではなく、女性会員比率が1割も満たない現状もご理解いただき、現役で活躍中の卒業生をもっと増やすべく、これからも会員増強にご協力をお願いします。  
当クラブは神奈川大学創立100周年の前年、2027年に設立30周年を迎えます。活気あるクラブに向け、より活発化しようではありませんか。この11月には新たな試みとして11月9日、留学生16名を交え「バーベキュー交流会」を実施しました。(詳細は、小林二三夫副会長の結果報告記事を参照ください。)  
さて、今年度の村橋・フロンティア奨学金授与式は12月24日に開催予定です。今回から奨学金等協力専門委員会委員長の小林照夫さんが選考委員として携わられています。皆さまにはたびたびフロンティア奨学金募金のお願いをしています。が、この奨学金創設のきっかけとなった村橋三好先輩の想いをもう一度ご理解いただき、家庭の事情などにより学業に専念できない優秀学生を支援するために、



新たな試みとして開催したBBQ交流会の集合写真

今後もご協力をお願い申し上げます。  
当クラブの年間活動として、春・秋の箱根交流会や2カ月ごとのフロンティアサロン、施設見学会、BBQ交流会などさまざまな催しをしています。会員間の交流を深耕するために多くの会員の皆さまの参加をお待ちしています。

フロンティアクラブ設立時に当事者として関わった磯邊晃さん（昭和35年法律卒、宮陵会参与）からご寄稿いただきました。

# フロンティアクラブ設立

## 当時の思い出

東京都 磯邊 晃（86歳）

フロンティアクラブの設立前、「神奈川大学産業人の会」という組織がありました。その会の代表者は片桐典徳京浜急行電鉄会長が務めておられました。目的は、経済界の有力企業や団体、法曹界、教育界、報道界、ジャーナリストや官公庁、自営業などで活躍する卒業生たちが集まり、会員相互の親睦や研鑽、母校を支援し、その維持と発展に寄与することでした。寄付金の募集や学生の就職活動支援をしておりました。片桐さんが亡くなると、会は自然休眠となりました。その後、同じ目的で平成9年（1997年）、フロンティアクラブという名の新しい組織が設立されました。

まず会の名称や会則、代表者及び世話人を選任。会則には、第1部会員は東京証券取引所上場企業役員経験者、第2部会員は非上場企業、第3部はその他で、役員任期は2年。総会には、学校法人神奈川大学の理事長及び学長に出席して頂き、本会の事務は神奈川大学に依頼しました。

代表世話人として、神尾英雄トヨタ自動車副社長（のち相談役）が就任され、発足当時のメンバーには、世話人に第1部は長野定英日鍛バルブ社長（のち相談役）、小川哲也太平洋工業取締役名誉会長、他に小松耕ノリタケカンパニー専務取締役、松村秀雄野村證券専務取締役、新井三夫トヨタオー

ト神奈川代表取締役社長、島津英郎ビーコンシステム取締役会長、磯邊晃三洋証券常務取締役（のち三洋投資顧問、代表取締役社長）、鈴木実西原代表取締役社長、山本貞夫日鍛バルブ取締役社長、武藤忠義村上開明堂代表取締役社長など名を連ね、当時は名古屋で会合を持ち、懇親ゴルフを行い、フロンティアクラブ拡大について話し合ったりしました。ほかに、会合には宇佐見暢男日本ベッド製造代表取締役社長や岡田万久アイメックス代表取締役も加わりました。

「神奈川大学産業人の会」の目的を承継し、会則を定め「神奈川大学フロンティアクラブ」を正式名称と決め、私は世話人の1人として、各有力企業勤務者に電話や手紙で参加を依頼し会員の増加につとめました。それにより会員数も増え、総会出席者も相当数となり、設立総会が平成9年12月5日に開かれ、神尾秀雄会長を中心にスタートしました。その後、ゴルフ会を度々重ね、フランク永井や三橋美智也、春日八郎など懐メロ曲に興じるカラオケ大会などで親睦を深め、神尾さんや長野さん、プロマガいの鈴木さんの歌声がとでも楽しく、今も脳裏に残っています。

私としては今後とも、神奈川大

# 12年6カ月の

## 感謝を込めて

社会連携部 社会連携課

後藤 喜多郎

初めに、2012年に総務部校友課へ配属され、以来12年半に渡り、フロンティアクラブの皆さまとお仕事ができました事を感謝するとともに、今号でこのような形で皆さまへお言葉を届けられる機会を頂戴いたしました事に感謝申し上げます。

思い返せば、私が就職課から異動してきた当初のクラブは存続危機の状況でした。当時は会員80名強。幽霊会員も多く、当時の会長（故鈴木会長）はじめ、運営委員会内でもフロンティアクラブを閉じようとの声も上がっていた状況でした。その様な中、若手の運営委員より「フロンティアクラブを絶やしてはならない。」と熱い発言があり、存続に向け再び動き出

しました。その時に誕生したのが、「箱根交流会」です。

当時のイベントと言えば、隔月で開催されていたフロンティアサロンと、定時総会以外、会員が交流するイベントはありませんでした。さらに、フロンティアサロンは、回によっては10名にも満たず加えて毎回の顔ぶれが同じ状況でした。

そこで、實方副会長（当時）と相談し、箱根保養所を利用した「箱根交流会（ゴルフ・温泉の会）」を企画・開催しました。今ではクラブの恒例の行事となり、今年20回を数えました。徐々に参加会員も増えましたが、箱根に来ることができない会員をどのように対応すべきかが課題となり、次に原副

会長と企画し実施したのが「施設見学会」でした。テーマは「ビジネス交流」。会員が従事されている企業を訪問し、知的財産の見学や、そこで働く卒業生との交流（勧誘）も含め開催しました。

各企画を実現するにあたり、故鈴木会長、村田前会長、春原会長には本当に相談の段階から後押しをいただきました。そんな、順風満帆に進んでいた事業も新型コロナウイルスの猛威によって全機能が停止しました。これまでに経験したことが無いような事態をどの様に乗り越えるのか、試行錯誤の結果、オンラインでのサロンの開催に加え、完全無償化で実施し、クラブの社会貢献並びに知名度向上に着手しました。その結果、退会者も最低限に抑えることができ、そして、今では会員数は200名を超え、時代とともに様々な出来事がありました。今もクラブが存在していることは、皆さまと向き合ってきた成果かなと思っております。

最後になりますが、私は、新たな部署で、皆さんとの出会いを財産に始めてまいりたいと思います。みなとみらいキャンパス1階にいますので、お近くにいらした際は、是非お声かけください。長い間、本当にありがとうございました。



箱根交流会の余興を盛り上げる後藤氏



ゴルフの会にて（左から後藤氏、石渡理事長、春原会長）



設立当時、総会後の懇親会にて



フロンティアクラブ設立当時の総会の様子

学を卒業した仲間としてフロンティアクラブ会員との交流会などを通じ、会の目的を失うことなく、楽しい会が続くよう願ってやみません。

# 留学生を招いた バーベキュー報告

フロンティアクラブ副会長・  
横浜北宮陵会会長

小林 二三夫

2024年11月9日(土)に神奈川大学フロンティアクラブ、横浜北宮陵会、町田宮陵会、川崎市宮陵会が共催で留学生を招いたバーベキュー交流会を開催しました。毎年このようなバーベキューを実施できれば、留学生とビジネス経験豊富な神奈川大学卒業生と貴重



BBQ交流会の様子

な交流の場になるものと思います。以下、開催の概要です。

▽日時、2024年11月9日(土) 13時30分～16時▽場所、玄海田公園バーベキュー場(横浜市緑区長津田みなみ台)▽参加者、46名(留学生16名、フロンティアクラブ9名、横浜北14名、町田3名、川崎1名、法人役員1名、大学職員2名、フロンティアクラブ奨学生1名、うちご家族4名)。なお、各地域組織などの参加者にフロンティアクラブの会員がいますのでフロンティアクラブ会員は計15名の参加になります。所属が重なる人もおり、人数計算が複雑ですが、参加総人数は、合計46名です。

留学生は、神奈川大学で1 semester、または1年間と短期間学ぶ、主に神奈川大学の協定校から来ている留学生です。教育・学生支援部、国際担当のご協力により参加留学生の出身国は、ドイツ、イタリア、フランス、ポーランド、中国、台湾、メキシコと多国にわたり、参加OBも興味深く若い留学生から各国の事情を聴くことができました。

今年は1名ですが、フロンティアクラブの奨学生が参加し、OBに就職について聞いたり、留学生と交流するなど、奨学生にとって



## 伊藤 恵一 九紫火星の人

1969(昭和44)年法学部法律学科卒

宮陵会理事会終了後に声を掛けて頂き、以前からフロンティアクラブの存在は耳にしていたが、直接話しかけられたのはその時だったと記憶している。現在地の秋田からフライトで羽田迄50分、自乗駅から歩き、自宅を出て大学へ着くまでおよそ2時間半の道のりになる。幾度となく足を運んだ六角橋商店街は今も学生街に溶け込んでいるのが心に響く。しかし最初

の下宿先だった斉藤分町は住宅街が整備され、卒後50年余の歳月は街並みを変えた。フロンティアクラブの交流会では、前泊した箱根保養所から、程なく雨も上がった早朝に、初めて御殿場のゴルフ場へと向かった。原副会長の車でお世話になり、「この道が近道になるよ」と説明してくれた。土地勘のない私は助手席で「うんうん」と黙って聞いてい

た。本来はゴルフ場従業員の仕事や通勤用向けに造られた道らしい。ゴルフコンペの帰り道は、春原会長の車に乗せて頂き、懇談会で初心者に頂いた賞品をごっそり。翌朝、宅急便に預けた。(スコアは「普段着」の3桁を、なす術もなく叩きました)。

さて今年もあと2カ月を切り、来年のコンペ参加はどうするか。新聞配達所からの高島易断所編纂(へんさん)を何気なくめぐって暦を見たら、昭和21年生まれは九紫火星。運勢は「積み重ねた努力と経験を開花させる時で、待ちに待



## 加藤 幹夫 建学の精神を胸に、 行政書士として生きる

1980(昭和55)年経済学部経済学科卒

1976(昭和51)年経済学科に入学した当時は、まだ学園紛争の名残もあり、1年次の期末試験はレポート提出でした。ただ、大学の講義は大変興味深く、特に経済原論Iの宮川武雄教授、経済原論IIの海道勝稔教授、政治学の新宮千鶴教授の講義への出席は毎回楽しみでした。

行政書士の資格は大学1年次に取得しましたが、まさかこの資格

を生業にするとは当時考えもしませんでした。10年ほど法律業界に身を置き、1991(平成3)年1月に独立しました。相続手続、法人の許認可手続を中心に業務を行って行きます。昨今話題になった宗教法人認証に関わる業務も行っています。実務とマスコミ報道の乖離(かいり)に閉口したものです。

県行政書士会副会長を5期(1

良い機会になりました。今後、在学する奨学生の参加が増えればフロンティアクラブ奨学生に認定される意義がさらに増すと思います。このようなイベントを通して留学生が日本、日本人、神奈川大学を身近に感じて帰国し、神奈川大学のファン、日本のファンになり、大げさに聞こえるかもしれませんが、日本の安保に貢献していただければ幸いです。

## 海と陸から 横浜港などを見学

晴天の下、毎年恒例となる神奈川大学フロンティアクラブ施設見学会が12月2日に開催され、16人が参加しました。見学コースのスタートは、今年から神奈川大学が指定管理者となった国の重要文化財でもある横浜開港記念会館で、ボランティアガイド「ジャックサポーターズ」の皆さんに案内していただきました。その後はマリールージュに乗船し、横浜のシンボル・横浜ベイブリッジをくぐり、横浜港内を一周し、下船後、バスツアーで大黒埠頭の横浜港国際流



横浜港国際流通センターにて

通センターを見学し、海上と陸上の2つの視点から横浜の「流通」を見学することができました。見学後は、フロンティアクラブ会員の県民共済理事長・手島康博氏の厚いおもてなしを受け、県民共済プラザ内宴会場「メルヴェユ」で懇親会を行いました。みなとみらい地区の港の夜景が一望できる会場では、終始和やかな雰囲気にも包まれ、参加者同士が交流を深めました。フロンティアクラブ施設見学会は来年度も実施予定です。会員の皆さまのご参加をお待ちしております。(事務局 菊永恒大)

った幸運をつかめる年です」と表現され、更に「徳は孤ならず、必ず隣あり」とある。沈み掛けているグレーの気持ちは吹っ飛んだ。迷いを振り切った英断は、単純明快。努力に線を引き、運だけに全てを賭けよう!と。皆さまのご多幸をお祈りいたします。

出身地は秋田県、学生時代の部活は合気道部、20歳代から民謡・浪曲十八番を聴いていた。

### 企業紹介

1991年(平成3年)、行政書士加藤綜合法律事務所を開設。  
主として、相続手続・法人の許認可手続・会社法務書類作成、相談業務等。  
精通している会員が少ない、宗教法人認証手続にも対応しています。

# 写真で振り返る今年の神奈川大学ホームカミングデー

今年第30回を迎えたホームカミングデーが11月10日(日)に横浜キャンパスで開かれ、500人を超える卒業生が集まりました。石渡理事長、小熊学長によるあいさつより始まり、様々なイベントが開催され、参加者は思い思いに懐かしいキャンパスで1日を過ごしました。その様子を写真でご報告します。



オープニングセレモニーの司会者  
エフエム東京所属の中田美香氏（経営学部卒）



オープニングセレモニーに登壇する石渡卓理事長



久保清治宮陵会会長（右）



オープニングセレモニーの様子



屋外の物販コーナー



管弦楽団による演奏



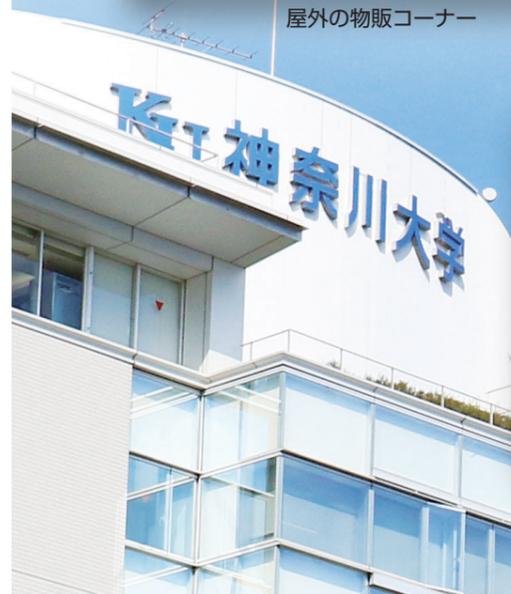
チアリーディング部による演舞



神大マスコットキャラクター「JIN&KANA」撮影コーナー



水泳部の横山貴コーチによる  
トークショー



卒業生有志「フロイデコール・レジェンド」  
との校歌斉唱



学食体験 おにぎり&豚汁スタンド  
山形県産はえめきのおにぎりと卒業生が経営する  
井上醸造の信州味噌を使った豚汁



課外活動団体による体験コーナー



神大応援コーナー



昔の面影を残す 7号館教室



馬上 裕之

2015(平成27)年法学部法律学科卒  
2018(平成30)年法科大学院修了

### 千里の道も一歩から

私は、2011年に法学部法律学科に入学し、15年同学科を卒業しました。その後、神奈川大学法科大学院に進学し、18年に修了。21年に司法試験に合格し、現在、千葉県内の法律事務所で弁護士として仕事をしております。大学時代及び大学院時代、横浜キャンパスの図書館で勉強をする日々を送っております。

もともと法曹を目指していませんでしたが、大学2年の終わり頃に就職活動をするかどうかを考えていた際、法科大学院との橋渡しの授業(法曹を目指す人のための授業)が翌年度から始まることをシラバスで偶然知り、そこで、より詳しく法律を勉強したいと考え、法科大学院、司法試験、法曹という道を意識するようになりました。今振り返ると、偶然目にしたシラバスによって、人生の進む道が決まったように思います。もっとも、目指すだけで実現できるほど甘くはなく、それまで本を読む習慣もなく、難しい本を読むだけの集中力もない状態だったため、何度も自分の力の無さを目の当たり

にしました。また、普段使っている日本語の理解が十分でなかったことを知り、逃げたくなくなることもありました。しかし、これまで自分と向き合うことがなく、また現在の自分は何者でもないということとは理解していたので、これは成長の機会だと割り切ることで前に進むことができました。

できないこと、足りないことを目の当たりにしたとしても、成長のきっかけを見つけたと考え、一歩ずつ進むことの大切さを大学時代、法科大学院時代に知ることができました。これは私にとって貴重な財産の一つとなっております。大変お世話になった神奈川大学に少しでも還元できるような微力ながら貢献できればと考えております。若輩者ではございますが、皆さま今後ともよろしくお願い申し上げます。(92年群馬県生まれ。15年法律学科卒業。同年神奈川大学法科大学院に入り、18年卒業。21年司法試験合格。22年から千葉県にある法律事務所に入所。現在に至る。)



プレー前の集合写真

### ゴルフの会

## 10月4日「ゴルフの会」を開催

2024年10月4日に箱根交流会ゴルフの会に参加させていただきました。コースは適度な難易度で初心者から上級者まで楽しむことができるPGM御殿場コース。午前中雨が降っていてグリーンが滑る状態はかなり苦労しましたが午後は晴れ間もあり無事完走できました。時折顔を出す富士山や箱根の素晴らしい自然の中で同窓の方々と楽しいひと時を過ごすことができました。主催者側のご提案

でシニアティーを使うことができましたのも個人的に大変楽しくゴルフができた一因となりました。スコアはともかく終了後の懇親会ではゴルフ以外で参加された同窓の皆様と美味しい料理を囲みながら大学時代の思い出や大学の近況などについても語り合うことができました。このイベントを通じて皆様との絆が一層深まったことに感謝しています。最後に、企画・運営に携わっていただいた皆様にご心より感謝を申し上げます。(田原 清彦)



箱根交流会での集合写真

### 第137回フロンティアサロン

(2024/7/17 みなとみらいキャンパス開催)

法律事務所の現在地 ～ケースに応じた弁護士選択～

講師：毛塚 衛氏  
(横浜馬車道法律事務所 代表弁護士)

講演内容 司法制度の改革により、2020年度の弁護士総数は約4万人となり、以前の約2倍に増加しました。弁護士選びの選択肢が増える中で、どのように適切な弁護士を見つけるべきかについて、毛塚氏が自身の経験を交えながら解説しました。

### 第138回フロンティアサロン

(2024/9/18 みなとみらいキャンパス開催)

ライフプランニングセミナー ～人生100年時代を生き抜くための道すじ～

講師：村田 義郎氏  
(ソニー生命株式会社)

講演内容 仮想の家族を例にとり、人生設計の収入と支出の変化を、専用シミュレーションソフトを用いて「見える化」しました。また、参加者自身が家族構成や将来のイベントを記入するワークを通じて、人生設計を再考する機会を提供しました。

### 第139回フロンティアサロン

(2024/11/20 みなとみらいキャンパス開催)

苦難との向き合い方

講師：石原 愛依氏  
(auフイナンシャルホールディングス 所属アスリート)

講演内容 大学入学直後にコロナ禍でオリンピックが延期となり、さらに大学2年次には突然目の障がいが発症するという逆境に直面した石原氏。これらをどのように受け止め、前向きな力に変えてきたかについて、自身の経験を語りました。

### 山歩きの会

## 10月4日「山歩き・散策の会」を開催



山歩きの会 集合写真

今回は山歩きではなく、近隣住宅街の「台地から下る」葛葉緑地の散策でした。緑地の中央を流れる葛葉川(丹沢が水源)が、その水勢によって大地を大きく、深く削り取り、蛇行し、高低差30メートル(ビル10階建てに相当)の切り立った崖をなす「峡谷」の緑地です。崖には約12万年前の箱根噴火の層「関東ローム層」や約5万年前の軽石などの層がはっきりと見え

ていました。緑地内散策では丹沢名物「山蛭の歓迎」があり、齢70ではありますが、たつぷり献血をさせていただきます。当日は一時豪雨もありましたが、丹沢山系の久遠の営み、緑地に暮らす小さな生き物にも触れ、泥んこで野山を駆け回った子ども頃の思い出出し、なんとなく、ホットする一日でした。参加者は14人でした。(白山 英之)



崖の表面に見える地層は関東ローム層

# 時代を読み解くアカデミックジャーナリズム 神奈川大学評論

第107号 (好評発売中)

【特集】空想

【対談】漫画と想像

安彦良和・山岸涼子



1987年に創刊した「神奈川大学評論」は、「アカデミック・ジャーナリズム」をコンセプトとする雑誌です。「知」の現場である大学ならではの深く深いテーマと、大学という枠にとられない執筆陣による充実した特集。社会や政治、思想、ジェンダーなど、私たちが取り巻く現代社会の「いま」を様々な切り口で展開しています。  
価格は税込889円(送料別)。バックナンバーのお買い求めや、定期購読も可能ですので、詳細は大学公式ホームページをご確認ください。

## 2025年度 神奈川大学フロンティアクラブ 定時総会開催のお知らせ

開催日時：2025年2月15日(土) 14時より  
開催場所：みなとみらいキャンパス

【当日のスケジュール】

- I部 総会
  - ・2024年度事業報告及び決算
  - ・2024年度会計監査報告
  - ・2024年度委員会報告
  - ・2025年度事業計画(案)
  - ・2025年度予算(案)
  - ・大学の現況について  
石渡 卓理事長・小熊 誠学長
- II部 講演会  
講師 関 ふ佐子 教授(神奈川大学法学部)
- III部 懇親会(みなとみらいキャンパス21階)



## 第141回 神奈川大学産学交流 フロンティアサロンのご案内

今回は、開設20周年を迎える神奈川大学エクステンションセンターとタイアップし、開催します。

開催日時：2025年1月30日(木) 13:30~15:30  
場 所：横浜開港記念会館  
参加費：500円 先着200名(要事前申込)  
講 師：神奈川大学建築学部 内田 青蔵 特任教授  
テーマ：重要文化財 横浜開港記念会館の特徴とその魅力  
-近代建築の最初期の保存・再生の事例として-

会場となる横浜開港記念会館は2024年4月より、神奈川大学が指定管理者となりました。公会堂建築物として初めて国の重要文化財に指定されています。



かつて中区公会堂として使われていた講堂

## 硬式野球部からプロ野球選手誕生

庄子雄大選手がソフトバンクから2位、佐藤太陽選手が西武から育成枠指名

今年のプロ野球ドラフト会議は10月24日、東京都港区のグラントプリンスホテル新高輪で開かれ、本学硬式野球部の庄子雄大選手(人間科学部4年)が福岡ソフトバンクホークスから2位、佐藤太陽選手(人間科学部4年)が埼玉西武ライオンズから育成枠で指名を受けました。本学の選手がプロ野球球団から指名を受けるのは、21年人間科学部学部卒業の梶原昂希選手(横浜DeNAベイスターズ外野手)以来3年ぶりの快挙です。ドラフト会議当日、横浜キャンパスでは庄子選手の記者会見が行われ、硬式野球部の部員をはじめ、多くの在学生や教職員が指名の瞬間を見守りました。庄子雄大選手は、「びっくりしています。優勝争いをしているチームに2位で指名していただけたのは素直に嬉しいです。一日一日が勝負と想って過ごしていきたいです」。佐藤太陽選手は、「プロの世界で野球を続けられることに感謝しつつ、



左 佐藤太陽選手、右 庄子雄大選手

一日でも早く支配下選手になってチームに貢献できる選手になりたい」と意気込みを語りました。2人の活躍が原動力となり、今シーズンの神奈川大学野球秋季1部リーグ戦は、リーグ優勝(57回目を飾りました。今後のお二人の活躍を、卒業生一同で応援していきます。

## 水泳部女子チーム、3年ぶり日本一を奪還

日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)が9月5日から8日、東京アクアティクスセンターで開かれ、本学水泳部女子チームが総合優勝を果たしました。本大会は、個人の活躍がチームの得点となり、大学対抗で日本一を競う「超総力戦」です。各大学が拮抗する中、1年生の長岡愛海選手(経済学部1年)が100m、200m背泳ぎで史上初となる1年生での2冠を達成。小島優々美選手(人間科学部1年)も100m、200m平泳ぎで準優勝を果たしました。さらに、川口菜美選手(人間科学部4年)が200m自由形で3位入賞し、女子主将の長谷珠那選手(人間科学部4年)も決勝に進出しました。各選手が持てる力を出し切り、着実に得点を重ね接戦を制しました。  
長谷主将は「目標だった日本一を無事に獲得できた。熱い応援、本当にありがとうございました。各自の個人目標



チャンピオンフラッグを掲げ喜びの部員たち

も多く達成でき、来年につながる試合になったと思います。たくさんの方々の支えがあったからこそ結果です」と感謝の言葉を述べました。  
全員が一丸となって戦い抜いた結果、見事に3年ぶりの王座奪還を成し遂げました。連覇のかかったシーズンも、引き続き声援を送りましょう。

# 事務局からのお知らせ

## 神奈川大学フロンティアクラブでは、公式LINEの運用をしています！

フロンティアサロンや施設見学会、交流会などお得な情報をお送りしますので、ぜひ友だち登録をお願いします！



友だち追加は隣の画像をクリック！▶

## メールアドレスの収集について

フロンティアクラブから郵送している各案内資料や卒業生の活躍、大学の情報等を会員の皆さまにメールで、いち早くお届けしたいと考えています。メールアドレスの収集にご協力をお願いいたします。

メールをお使いの方は、以下のメールアドレスに氏名をご記入の上、お送りください。

また、メールアドレスを変更された場合にも、お知らせいただきますようお願いいたします。

【メールアドレス】

kufc-frontier@kanagawa-u.ac.jp

## 異動職員のご紹介

よろしくお祈いします

校友課 高師 健太郎

10月1日より校友課に異動して参りました高師健太郎と申します。私は2010（平成22）年に神奈川大学法学部法律学科を卒業し、神奈川大学の事務職員として18年に広報課に中途入職いたしました。在学中の08年にリーマンショックが起こったことも影響し、就職活動は大変苦勞した世代です。広報課では約6年半、さまざまな業務を経験させていただきました。これからは校友課での業務を通じて、皆さまに一日でも早く顔と名前を覚えていただけるよう努めます。どうぞよろしくお祈い申し上げます。



2023年の授業でゲストスピーカーとして来校された谷本歩実さんと（アテネ、北京大会女子柔道63kg級金メダリスト）



最新情報は  
こちら

「神大スポーツ」では、体育会・文化系問わず、課外活動で活躍する学生や指導者たちの最新記事を掲載！

学内のみならず、広く国内外で活躍する神大生の情報をお届けします。